

特別研究 (Thesis Work)						
専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
情報電子	必修	2年	6	研究	特別研究担当教員	
<p>【授業の概要】 それぞれの分野で研究を行い、技術者、研究者として直面する問題を解決する能力、創造性等を養う。研究にあたっては最先端の理論、技術、解法などの情報を自主的に収集し、常に新しい取り組みができるよう心がけ、自らの分野の専門知識を深める。最終的には学会発表を通じて、得た研究成果を外部で評価できるように努力する。</p>						
<p>【学修の進め方】 各研究テーマに対して、特別研究担当教員の指導により計画的に研究を進める。成果を特別研究論文にまとめ、特別研究発表会にてプレゼンテーションを行う。特別研究論文の提出にあたっては、担当教員との連絡を密にすること。決められた提出期限の少なくとも2週間前までには初稿をまとめ、担当教員の指導を受けるものとする。指導教員および指導教員以外の教員からの助言を受けた後、提出期限までに1週間以上の期間を確保して最終稿をまとめること。</p>						
【授業の概要】						
<p>各担当教員の指導のもとに研究計画を立て、特別研究を進める。 情報電子工学専攻の特別研究担当教員が主に実施している研究テーマを以下に挙げる。</p> <p>知識情報系（情報工学） 義永 常宏：オートマトン理論に関する研究 奥本 幸：画像認識システムの実用化に関する研究 高山 泰博：自然言語処理および文書処理に関する研究 宮崎 亮一：音声・音響処理に関する研究</p> <p>コンピュータシステム系（情報工学） 重村 哲至：教材用計算機システムに関する研究 柳澤 秀明：分散システムに関する研究 古賀 崇了：映像・音響情報の知的情報処理技術に関する研究</p> <p>電子通信系（電気電子工学） 山田 健仁：機器制御システムに関する研究 大橋 正夫：層状無機結晶の合成と性質に関する研究 原田 徳彦：光情報処理応用 新田 貴之：コンピュータを援用した教育支援環境の構築に関する研究 室谷 英彰：半導体材料および半導体デバイスの特性評価と応用に関する研究</p>						
【到達目標】	研究テーマについて調査研究することにより、文献の調査の仕方を学び、論文の読み方に慣れること。また研究によりその分野の技術について深く理解すること。その他、論文にまとめることにより、論文を書くことに慣れること。学会で研究発表を体験することなどである。					
【徳山高専学習・教育目標】	C2		【J A B E E 基準】		1(2)f,h	
【評価法】	特別研究指導教員による評価は全体評価の60%、特別研究論文評価は全体の20%、プレゼンテーション評価は全体の20%を総合して評価する。					
【テキスト】	必要な資料は担当教員が提示する。					
【関連科目】	情報電子工学で学んだ全ての科目が関連する。					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】